

# 平成28年度 事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

公益財団法人  
日本陶磁器意匠センター

## 平成28年度 事業報告書

自;平成28年4月1日 至;平成29年3月31日

## 1. 意匠・裏印の保全事業

陶磁器(食器・ノベルティ・タイル)の意匠と裏印の保全登録を行ってその保護に努めました。

## (1) 保全登録事業

## ① 陶磁器意匠・裏印の保全登録

平成28年度は意匠審査人会を2回(10月、12月)開催し、登録申請5件のうち3件に対して、保全登録の可否を審査しました。その結果、新規に意匠保全登録したものは3件(食器2件、ノベルティ1件)でした。また、裏印保全登録の申請はありませんでした。

新規の保全登録意匠は、「陶磁器意匠弘報 web 版」として本財団ホームページに掲載。

[www.pottery-design.jp](http://www.pottery-design.jp)>意匠の保全事業について>陶磁器意匠弘報

表1. 平成28年度の保全登録申請及び保全登録の状況 (単位=点)

(種別の\*欄は、新規では申請点数、更新欄では期間満了点数を表示。)

種別		平成28年度			平成27年度			前年比 %
		新規	更新	合計	新規	更新	合計	
食器 ノベルティ	*	5	435	440	31	512	543	81.0
	登録	3	394	397	23	408	431	92.1
タイル	*	0	13	13	1	13	14	92.8
	登録	0	12	12	1	13	14	85.7
裏印	*	0	96	96	0	114	114	84.2
	登録	0	84	84	0	96	96	87.5
合計	*	5	544	545	32	639	671	81.2
	登録	3	490	493	24	517	541	91.1

平成28年度末有効登録点数 517点 (前年度末 同点数 570点)

注) 「食器・ノベルティの意匠」には、産地登録済み製品を次のように含む。

平成28年度: 「新規登録」 1件/「更新登録」 17件(期間満了17件のうち)

<地区別: 新規=肥前1件/更新=肥前14件、京都1件、美濃1件、常滑1件>

平成27年度: 「新規登録」 1件/「更新登録」 16件(期間満了21件のうち)

## ② 陶磁器意匠の予備登録

平成28年度開始の「陶磁器意匠の予備登録」、初年度登録は28件でした。

「予備登録リスト」を本財団ホームページに掲載。

[www.pottery-design.jp](http://www.pottery-design.jp)>意匠の保全事業について>予備登録>予備登録弘報

## (2) カタログの受入確認

「カタログの確認」は、事業者発行のカタログやパンフレット・チラシに対して、第3者である当

センターが受付日を記録(年月日)するものです。

この受付日は、他人の意匠との争いにおいて、先後を確認する証拠となります。

また、特許庁に意匠登録された他人の意匠よりも、開発・発表の時期の早いことが証明できれば、その登録意匠の無効を主張出来ます。

本年度のカタログ等の確認は1件でした。

予備登録実施に伴い、「カタログ受入確認」の手数料は有料となりましたが、これは有料化実施前の受付でありました。

### (3) 意匠や商標等に関する相談

#### ① 「商標」に関する相談

- ・国際出願に関する相談； 1件(29年度外国出願助成金に関する相談)
- ・国内出願に関する相談； 3件

#### ② 「意匠」に対する相談

- ・国内出願に関する相談； 3件6点

#### ③ 特許公報に関する問合せ； 2件

### (4) 意匠や裏印の諸問題への対応

#### ① 意匠に関する事案

<1> A社及びB社(共願)から、保全登録中の丸皿(大小2点)について、デッドコピーが販売されている旨の申し立てあり、販売者Cに対し販売中止の要請を行った。これにより、問題の丸皿は一旦撤去されたものの、後日、再び店頭にあることが判明したため、商品撤去の徹底について書簡を送ったところ、店舗側で誤って販売されたものとの回答あり、その後、対応は徹底された。(28年8月～29年2月)

#### ② 裏印に関する事案

<1> 前記Cの販売する商品シリーズの名称に関し、前記A社及びB社(共願)から問合せがあり、本財団では顧問特許事務所と共に検討した。即ち、製造地が海外でありながら、日本国内の陶産地名を当該名称の主たる部分として使用し、既述デッドコピーをその名称にて販売中であることを確認。

意匠保全登録の丸皿の産地は、その名称に使われた陶産地であり、また、登録者はホームページにその旨を公開、説明を行っていた。

こうしたことから、C社の当該名称の使用は、「出所の誤認・混同」を引き起こすと指摘、即刻の使用停止を働きかけたところ、使用を停止するとの回答あり、後日、販売商品の裏に貼付された全てのシールから、当該名称が削除されていることを確認した。(28年8月～9月)

<2> 賛助会員D社から、同社が商標権を有する商標に関して、表示・呼称とも似ているような状態のものが、E社カタログ表紙に使用されており、対応について相談があった。本財団では、顧問特許事務所に類否判断を求めたところ、「類似」との回答があり、E社にその旨を連絡、E社は謝罪の上、残部の廃棄・今後の使用中止・再発防止等をD社に申し入れた。(29年2月)

## 2. セミナー事業について

平成28年6月17日(金)、愛知県瀬戸市のイベントホール「瀬戸蔵」において、デザイン講演会を開

催した。講師は、三井秀樹筑波大学名誉教授、題目「琳派の美学と日本の陶磁器」。

開催挨拶＝池田洋幸副理事長、参加者＝約70名

○写真;デザイン講演会の様子(写真の奥、右端に立っている方が講師の三井先生)



### 3. 陶磁器意匠データベース(食卓用品)のデータ追加及び修正作業

データベースの原資料である「保全登録証」ファイルが、他の資料(例えば認証ファイル)の中に混入しているケースがあり、該当ファイルを発見次第、電子化を依頼し、データベース追加作業を、随時実施している。28年では、約300件の追加があった。また、登録事業者の所在地等、未入力があり、それらの入力作業も行っている。

### 4. 資料収集整備とその活用について

(A) 陶磁器デザインの情報資料として、下記のように収集・整備した。

- ① 専門誌: stil & markt(ドイツ) 12冊
- ② 所蔵図書リストをホームページに掲載し、閲覧を受け付けている。

(B) 「陶磁器意匠・裏印に関する調査依頼」への対応

① 国内から

a. 「NORITAKEと裏印にあるが、いつ頃のものか?」という問合せ。(28年8月)

ノリタケカンパニー発行「ノリタケ陶磁器の素材開発の変遷と裏印の歴史(1995年刊)」p10、8番目のバックスタンプとして掲載。明治41年から輸出用として使用開始。

”1916年(大正5)以後国内市場用にも使用”とあり、この旨回答。

(下部に For MITSUKOSHI<三越百貨店?>とあります)



② 海外から

a. KINGS COURT CHINA 及び WHITE ROSE について(28年7月)

問合せは、在米/マサチューセッツの日本人、友人から頼まれた、「友人は、日本製かどうか、懸念している」とのこと。

鳴海製陶「30年の歩み」に”（昭和）二十五年に……メタスコ社との取引が始められ……「キングスコートチャイナ」のブランドであった”とあり、財団資料に裏印(左)と意匠認証No 13062(1956年12月24日)があります。

問合せの裏印写真(右)は同一ブランドでありながら手元資料とは異なります。この裏印は、財団資料に見つかりません。

商品のデザイン White Rose は同一です。しかし、認証13062とはプレートの形状や絵付けのバランスが異なっています。米国から送信されたWhite Roseは、新しい商品のような感じがします。

これについては、日本製であるか否か、結論を出せませんでした。



(上)意匠認証 No. 13062 (1956年12月24日)貼付の写真

b. いわゆる「デコ盛り」ティセットの製造元について(28年12月)

問合せは、バンクーバー在住の日本人、カナダ人の友人からの依頼(父の遺品) 日本製かどうか、また製造元が分かれば、とのお尋ね。

裏面のサインから、セットは在名古屋の有力貿易商ヤマスポシ鈴木商店(創業・明治26



年、1980年代に廃業)のものと判明。依頼者の父は、杉原ビザによってナチスの手から逃れ、カナダへの旅程、1941年神戸に。ヤマスポシは神戸に支店があった。

## 5. 他団体事業への協力・後援

(1)後援; ①「第1回 Ceramic Life Design Award 2016」<2016年9月発表>

(主催 一般財団法人神戸財団、愛知県立芸術大学)

## 6. 賛助会員の異動について

	期首	増	減	期末
団体会員	12	0	0	12
協賛会員	12	0	0	12
一般会員	2	0	0	2
合計	26	0	0	26

## 7. 会議の開催

### (I)理事会

第196回理事会 平成28年5月31日

#### (1)審議事項

1. 平成27年度事業報告について
2. 平成27年度収支決算について
3. 定時評議員会の開催日について

#### (2)報告事項

1. 理事・監事の任期満了及び三役互選理事会の開催について
2. 評議員の辞任及び新任候補について
3. 予備登録開始後の状況について
4. 6月17日(金)開催デザイン講演会について

第197回理事会 平成28年6月15日

1. 代表理事(理事長)、副理事長及び専務理事の選定の件

第198回理事会 平成28年12月13日

平成28年度事業の進捗状況の報告

1. 陶磁器デザイン講演会(6月)の報告
2. 意匠・商標に関して対処した2件の事案について
3. 意匠保全制度の利用状況について
4. 本財団の財務状況について
5. 来年度予算などについて
6. 内閣府公益認定等委員会の立入検査(2月9日)について

第199回理事会 平成29年3月8日

#### (1)審議事項

1. 保全登録手数料の改定について
2. 新規事業(意匠・裏印の調査事業)について
3. 平成29年度事業計画について

4. 平成29年度収支予算について

(2) 報告事項

1. 公益認定等委員会の立入検査について
2. 今後の会議日程について
3. 研究調査への協力について

(II) 評議員会

第159回 評議員会 平成28年6月15日

(1) 報告事項

1. 平成27年度事業報告について
2. 意匠保全登録新制度「予備登録」について
3. 陶磁器デザイン講演会(6月17日開催)について

(2) 審議事項

1. 平成27年度貸借対照表、正味財産増減計算書、及び  
財産目録承認の件
2. 評議員3名辞任に伴う、新評議員3名選任の件
3. 任期満了に伴う理事15名、監事2名選任の件

(III) 監査会

平成27年度会計監査会 平成28年5月19日

(IV) 内閣府公益認定等委員会の立入検査 平成29年2月9日

以上